

令和6年度の新型コロナワクチン接種について

問合せ／保健予防課新型コロナワクチン事業室
(☎303-6313) ※4月1日から電話番号が(☎243-7315)に変わります。

国では、今後の接種について、次のとおり変更することを検討しています。詳細は、決まり次第、「広報みと」や市ホームページなどでお知らせします。



	令和5年度	令和6年度
接種の種類	特例臨時接種	B類疾病の定期接種
接種時期・回数	令和5年9月20日～令和6年3月31日の期間中に1回接種	年1回の接種、時期は秋冬
接種の対象者	初回接種が完了した、追加接種可能なすべての方 ※初回接種未完了の方も、3月31日までは、無料で接種可能です。	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の高齢者 60～64歳で基礎疾患を有する方 ※インフルエンザワクチンと同様の対象者となります。 ※4月1日以降に定期接種以外で接種を希望する方は、「任意接種」として自費で接種することができます。
自己負担	なし(全額公費)	あり(自己負担額は未定)
使用ワクチン	オミクロンXBB1.5対応ワクチン	流行の主流であるウイルスの状況やワクチンの有効性に関する科学的知見を踏まえ、当面の間、毎年検討する
副反応への相談	茨城県新型コロナワクチンコールセンター (☎029-301-5394)	接種を行った医療機関や、かかりつけ医など

梅毒の感染者が急増しています 自覚症状のある方は医療機関で検査しましょう

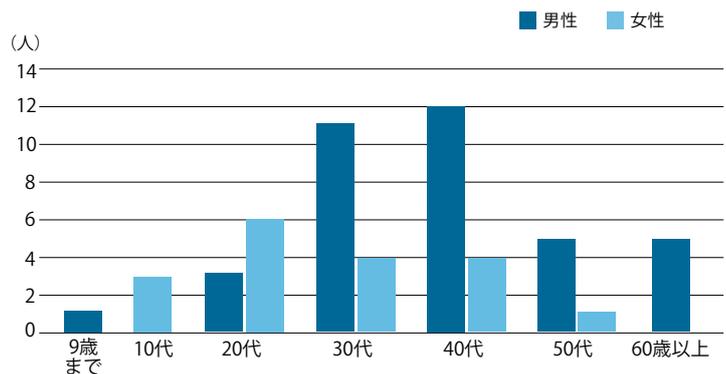
問合せ／保健予防課(☎350-7650)

梅毒は、梅毒トレポネーマという細菌による感染症で、性的な接触があれば誰でも感染する可能性があります。感染初期は、感染部位にしこりなどができ、症状が現れたり消えたりしながら、徐々に進行していきます。

全国の感染者数は、昭和23年から全数報告が開始されて以降、昭和42年の約11,000人を最多とし、その後は減少傾向でした。しかし、平成22年から増加に転じ、令和4年・令和5年ともに約13,000人に達するなど、注意が必要な状況が続いています。

水戸市においても、令和2年には10人だった感染者が、令和4年・令和5年ともに50人を超えるなど、近年は急増しています。男女別で見ると、男性は幅広い年代が感染しており、女性は20代を中心に感染が拡大しています。

水戸市の梅毒感染者の年代・性別ごとの届出数(令和5年)



▼梅毒は治療可能な病気です

梅毒は、早期に発見することで、適切な治療による治療が可能です。梅毒を放置すると、あなたがきっかけで大切な人も感染する可能性があります。また、妊娠中に梅毒に感染すると、お腹の赤ちゃんも感染することがあり、死産や早産になったり、障害を持って生まれたりすることがあります。感染の心配があり、不安な方は、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。



医療機関での検査

- 梅毒を疑う症状がある場合などは、保険診療での検査が可能
- 検査だけでなく、そのまま治療も可能
- ※症状が出ている部位に合わせて、診療科を検討しましょう。

保健所での検査

- 電話予約が必要
- HIV検査とあわせて、無料・匿名検査が可能
- ※感染の可能性がある日から3か月以上経過している方が検査できます。